2021.01.18『埼玉新聞』昌平中[3年] 宗像寿樹 君 寄付募り食品提供

寄付募り食品提供

杉戸・昌平中 宗像さん

自治会協力、生活困窮者に

コープみらいカルチャー受講生募集中

家庭の余剰食品を生活困窮世帯などに無償提供するフードドライブを行うコーププラザ春日部（春日部市中央）に200㌔近い大量の食品が届けられた。届け主は、杉戸町の昌平中学校3年・宗像寿樹さん（15）。コロナ禍の中、一人で始めたことだったが、その思いと行動が、周囲の大人たちや地域を動かし実現した。（山田浩美）

宗像さんは授業で学んだ子どもの貧困について興味を持った。日本では0万ソ以上の食品廃棄がある。コロナ禍の今、その格差がより深刻なこと7人に1人の子どもが貧困状態の一方、年間60に「自分だけ普通に暮らしていて、申し訳ない気持ちになった」。普段は消極的で引っ込み思案だという宗像さんが行動を起こす。

地元自治会「フレッシュタウン」の山下固（まもる）副会長（77）の自宅を直接訪れ、地域の家庭で余った食品をフードドライブに届けたいと協力を仰いだ。山下さんは「問題意識を持った子だね。その心意気に応えてあげたかった」と快く申し出を引き受けた。

宗像さんは寄付を募る食品や回収方法などを記したチラシを作り、自治会メンバーと570戸に配布。年末の約1週間、自治会館で寄付を受け付けた。持参できない高齢者宅には、授業が終わってから回収に出向いた。延べ43人の住民から食品557点、約190㌔が集まった。品目ごとに数量や重量などを表にまとめ、仕分け作業も一人で行った。

コープみらい（さいたま市南区）では県内コープ施設でフードドライブを実施している。5日、宗像さんはコーププラザ春日部に父親が運転する車で段ボール約10箱分の食品を寄付した。コロナ禍の影響で寄付は例年より少なく、同プラザでの昨年4～12月の合計は約190㌔。同プラザの福地裕子さん（58）は「1回の寄付が昨年の合計とほぼ同じ。段ボール箱がずっしり重く、中身を見なくても、作業の苦労や深い思いが感じられた」と感心する。

住民からは「勇気ある行動に賛同する」などの激励やお礼の手紙も寄せられた。コロナ禍の中での行動に不安はなかったという。「むしろ、こういう時期だからやらなければって。自治会の協力がその思いを後押ししてくれた」と笑顔を見せた。

「機会があれば、夏休みなどの長期の休みを利用してまた活動してみたい」と話す宗像寿樹さん＝春日部市のコーププラザ春日部

埼玉新聞
2021年（令和3年）1月18日　月曜日
きょうは何の日
初観音、118番の日
埼玉新聞社　〒331-8686　さいたま市北区吉野町2-282-3　本社代表　048-795-9930

埼玉学園大学
◆人間学部　人間文化学科・心理学科・子ども発達学科
◆経済経営学部　経済経営学科
（指定校推薦選抜Ⅱ期 出願受付1月20日(水)まで
一般選抜Ⅰ期 出願受付1月22日(金)まで
https://www.saigaku.ac.jp　0120-359-259

新型コロナウイルス感染者数
17日19時現在（暫定値）
県内 20785人（+433）
死者　270人（　+4）
退院・療養終了 13831人
※（　）内の数字は17日の増加数。チャーター便帰国者含む。退院・療養終了は18日現在。

12 中学生 食品募り寄付
8 柔道選手権 前田と幸田が初優勝
9 浦和の誉が最優秀選手
13 8㌔の数珠回し 疫病払い
17 仮放免クルド人の救済を

新型コロナ禍で生活に困窮する世帯のために、杉戸町の男子中学生が大量の食料品を集めて届けた。1人で始めた行動が、周囲の大人たちや地域を動かした。

ボートピア岡部　〒369-0224　埼玉県深谷市岡部186　048-548-1500（代表）　開設日(動車道「本庄児玉」より15分　国道17号岡部陸橋下交差点前　無料バス前日運行
ボートピア栗橋　〒349-1103　埼玉県久喜市栗橋北1-25-41　0480-55-1300（代表）　開設日4号線沿い　首都圏各地発着の無料バス前日運行